

NY 発

NPT 再検討会議 代表団ニュース



第1号 2015年4月26日

〒150-8913

東京都渋谷区渋谷3-29-8 ユーブプラザ 11F

日本生協連 組合員活動部

TEL: 03-5778-8124

FAX: 03-5778-8125

2015年4月27日から、ニューヨークでNPT再検討会議が開催されます。NPT再検討会議は、核兵器廃絶へ向けて5年に一度開催される会議です。そこで、全世界に向けて被爆の実相や、核兵器廃絶に向けた願いを発信するために、日本被団協と日本生協連は合同代表団を結成し、ニューヨークに出発しました。合同代表団のメンバーは、日本被団協から48人、全国の45の生協から91人の合計139人です。4月25日から5月1日の間、現地で活動します。その様子を、「全国組合員活動速報 特別号」として日々発信します！

4月24日 ニューヨークに到着！

4月24日に成田空港を出発、25日に無事にニューヨークに到着しました。13時間の長いフライトも時差ボケもなんのその、気合十分、明日からがんばります！



ニューヨークの空港に到着した代表団



19箱分の現地活動に使う資料集など

4月25日の活動

☆生協代表団と被団協代表団の合同結団式！

被団協代表団の谷口団長、生協代表団の本田団長のあいさつのあと、各班毎にテーブルをかこみ、お互いの紹介とこれからの活動への思いを語り共有しました。結団式にはニューヨークで証言活動のアレンジや通訳のボランティアをしてくださるオハロラン美紀さん、遠山京子さん、景山恭子さん、国連原爆パネル展のデザイナーの成田さんほかにも参加いただきました。

昼食会の中で日本被団協代表団のメンバーに外務省からの「非核特使」委嘱状の手渡しがありました。



班ごとに着席し、交流を深めるメンバー

委嘱状

〇〇殿

貴殿を「非核特使」として、日本を代表し、左記事業および期間において核兵器使用の惨禍の実相を広く国際社会に伝達するとともに、将来の世代に継承していくことを内容とする業務を委嘱する

- ・委嘱に係る事業 2015年NPT運用検討会議関連行事における被爆証言活動
- ・委嘱期間 平成27年4月24日から同年5月1日まで

外務省 軍縮不拡散・科学部長



委嘱状を受け取った被爆者のみなさん

☆ニュージャージー補習校「原爆被爆者の語り部」(8グループ)

放課後の自由参加のイベントに、幼稚園児から高校生までの子どもたちとその保護者、あわせて約80人と多くの方が集まりました。2人の被爆者の方からは、当時から今に至るまでの思いなどを中心に、現在の社会情勢などについても語っていただきました。日本人学校での証言活動だったこともあり、参加者は年齢にかかわらず熱心に耳を傾けてくれ、原発問題や内部被爆などについても質問がありました。

参加者の方々の姿勢から、海外に住む日本人の核兵器問題への関心、平和への思いを確認することができました。また、現地校と日本での教育内容の違いから、この地に住む日本人の歴史観の難しさを感じると同時に、実相を伝えることの大切さを学ぶことができました。



証言をする西本さん(左)、石川さん(右)

☆リセケネディ日本人学校での証言活動(14グループ)

リセケネディ日本人学校で、保護者と生徒合わせて60人を対象に、3人の被爆者の方が写真などを使いながら証言されました。

参加した保護者からは「直接話を聞いてよかった」「アメリカ以外の核保有国にもひろげてほしい」「福島の子供たちとの活動は?」「一番つらかったのは?」「実相を詳しく教えてほしい」などの感想や質問が出ました。それらを受けて、より具体的な被爆者の様子や街の様子を話されました。

被爆者からは、「話している我々被爆者もとてもつらいのですが、勇気をもってお話しますので、勇気をもって聞いていただき、現実を知っていくことが明日につながっていきます」と呼びかけ、参加者からは「ピースボートで福島の子供やお母さんたちと交流し、彼らに寄り添っていくことが大事だと感じました。自分の記録を作って、政府に対し、安全対策や健康診断を訴えてくださいと言いました」とコメントがあるなど、会は、温かい拍手で終了しました。

会のあとは、写真を見たり、持参された折り紙でいっしょに折り鶴を折ったりして、交流を深めました。



証言の様子



証言終了後、みんなで一緒に折り鶴作り

以上